

活動情報



第 17 号



JA直鞍 麦作・大豆部会にて栽培講習会を開催！

－ 今年産の麦・大豆を振り返り、今後の適期管理で高品質・高収量を目指す！ －

10月21日に、JA 直鞍麦作・大豆部会生産者大会が開催され、部会員及び関係機関合わせておよそ50名が参加しました。

普及指導センターからは、「麦の生育概況及び播種前作業について」と「大豆の生育概況及び収穫作業について」と題し、それぞれの栽培期間中の気象や生育概況と管理作業のポイントについて説明しました。

普及指導センターからは、R7年産麦は冬季の低温により初期生育に遅れがみられたものの、出穂期以降は高温・少雨・多照条件となり、登熟が良好に進んだことやちくし B5号「ふくよかまる」への品種転換初年目となる R7年産大豆の生育が、梅雨明け後の7月上旬に播種作業が進み、ハスモンヨトウ等の病虫害被害が少なく順調であることを報告しました。また、今後は大豆収穫と麦の播種時期が重なるため計画的な作業スケジュールを組み立てることや、麦の適期管理を行うためには排水対策が重要であること等を説明しました。

参加者からは、大豆のカメムシ類防除や麦類の播種前作業のタイミング等についての質問が積極的になされ、大変有意義な講習会となりました。

普及指導センターでは、今後も麦・大豆の高位・安定生産に向け、講習会や実証ほの設置・調査を通じて、生産者を支援していきます。



表彰式の様子



講習会の様子